

学科 学年	2年全	科目 分類	国語 Japanese	講義 必修	H22 通年 履修 単位2	学習教育 目標	4	担当	大石加奈子 OISHI Kanako
概要	21世紀の複雑化するコミュニケーション社会に対応していくため言語能力の基礎を養成する。情報化社会に生きる現代人として必要な論理思考力や表現力を無理なく高めていく。								
科目目標 (到達目標)	前期：ロジカルシンキング・ロジカルプレゼンテーション・アクティブリスニング・マイクロディベート・小論文作成のトレーニングを通じて、工学技術者の社会的役割を果たすために必要な基礎国語力 - 書く・読む・話す・聴く を育成する。 後期：エンジニアリングデザインに活かすファシリテーションの基礎トレーニングを通じて、前期で高めた論理性を応用し創造的な問題解決を集団で行う能力を育成する								
教科書 器材等	教材：プリント配布 機材：パソコン プロジェクター								
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績を80%、ディベート・プレゼンテーションなどの演習に対する積極姿勢を10%、課題提出を10%として評価する。								
関連科目	文学特論								
<b>授業計画</b>									
	参観	(授業には、教員が自由に参加できます。)							
第1回		国語を学ぶ意義と目的について 論理的な話し方の基本練習							
第2回		聴き方を学ぶ 積極的傾聴法の練習							
第3回		論理的な文章の書き方の基本を学ぶ							
第4回		ロジカルプレゼンテーションの基本を学ぶ ナンバリングとラベリング							
第5回		ディベートを行う意義と方法 試合準備							
第6回		ディベートの試合 前半 (基礎)							
第7回		後半 (基礎)							
第8回		ディベートの試合の準備							
第9回		試合 前半 (実戦)							
第10回		試合 後半 (実戦)							
第11回		文章の要旨をまとめる練習							
第12回		図書館の利用方法を学ぶ 読書マップを書く							
第13回		課題文型小論文を書く 1							
第14回		課題文型小論文を書く 2							
第15回		課題分型小論文を書く 3							
第16回		エンジニアリングデザイン教育についての説明							
第17回		前年度制作されたスライドから学ぶ 研究グループを決める							
第18回		ファシリテーションのための基本ルールを決める							
第19回		研究テーマに関する理想(目標)を明らかにする							
第20回		取り上げるテーマに関する現在までの状況を調べる							
第21回		取り組んでみたい、現状の問題点を見つける							
第22回		現状の問題の原因・解決策・得られる利益を考える							
第23回		解決策実現のためのステップを考える							
第24回		プレゼンテーションのシナリオ作成と画面のラフスケッチ							
第25回		問題解決型のスライドをロジカルに組み立てる							
第26回		発表練習 ノンバーバル・トレーニング							
第27回		発表練習 バーバル・トレーニング							
第28回		デジタル・プレゼンテーションを行う 1回目							
第29回		デジタル・プレゼンテーションを行う 2回目							
第30回		エンジニアリングデザイン教育 全体の振り返り							
オフィス アワー	昼休みおよび放課後								
授業アンケート への対応	社会ですぐに役立つ授業内容の充実								
備考	質問はメールでも受け付ける oishi@numazu-ct.ac.jp								
更新履歴	20100325新規								